

# 第1回市民ワークショップ news!

発行：平成27年4月 伊予市未来づくり戦略室 [伊予市米湊820番地 089-982-1111]

## 第1回市民ワークショップを開催しました！

3月21日(土)の午後、伊予市第2次総合計画第1回市民ワークショップを開催しました。伊予市は合併後10年の節目を迎え現在、第2次総合計画の策定に取り組んでおります。市民17名からなる総合計画策定審議会を設置し、26年1月から第1次総合計画の検証、第2次総合計画の施策体系に関する審議、検討を行ってきました。また市民等の意向を把握し、計画に反映させていくため昨年8月には市民アンケート調査、12月にはキックオフシンポジウム、2月には住民ヒアリング調査と職員研修ワークショップを実施しております。今回は高齢化と子育てに関し、現状や解決に向けた方向性を話し合うために高齢者支援、子育て、地域自治など、様々な活動に携わっている方、33名にお集まりいただき、議論していただきました。

はじめに、高齢者の暮らしや子育てについて、日頃感じていることや経験した問題を自己紹介カードに書き出し、グループ内で紹介し合いました(p2~)。次に、職員チームから、子育てや高齢者の暮らしの現状についての問題提起をした後、この問題について、地域の課題と市の政策課題の分類整理をしました。話し合いの結果を全体場で発表した後、感想カードを書いていただき、第1回のワークショップを終了しました。

この市民ワークショップは、5月~6月にかけて、後2回ほど開催する予定です。人口減少が避けられない日本の地域社会において、高齢化と子育てという普遍的な問題の検討を通して、それぞれの地域の自治と協働のスタイルを考え、総合計画の重点施策として位置づけるべきものを総合計画策定審議会に対していくつか提案していくことができると考えています。

### ～プログラム～

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：自己紹介『伊予市の高齢化と子育てについて一言』
- ステップ3：伊予市の子育てと高齢者のくらしの現状について問題提起します
- ステップ4：高齢者の暮らしと子育ての課題を通して伊予市の政策を考えよう
- ステップ5：グループの話し合いの結果を全体場で発表してもらいます
- ステップ6：まとめ



グループで議論した結果を最後に全体場で発表していただきました。

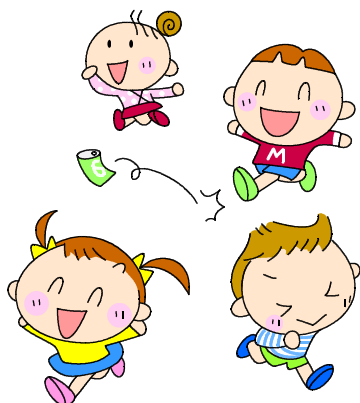
# 自己紹介「伊予市の高齢化と子育てについて一言！」

日頃感じていることや経験したことのある問題について、  
自己紹介を兼ねてグループ内で紹介しました。

## 子育てについて

### <遊び場が少ない、施設が少ない>

- 幼稚園、PTA。小学3年、1年、幼稚園年少の男の子3人兄弟の母親です。自分が生まれ育った土地に今でも住んでいるので、地域の人たちとはよく知った顔なので、よく挨拶したり声をかけたりしています。子ども達の遊ぶ場所は本当に限られた所しかないな、というのは感じます。
- 自然が多いのに、子どもを遊ばせる場所が少ないなと感じています。場所の数もですが、その場所に居るためのトイレ、水洗い等も少ないです。もっと市内で遊びたいです。
- 今の子どもは自分の思うままに行動する。ある程度の我慢も必要と思う。しつけが大切。子どもの遊び場が欲しい。近所付き合いを密にする。
- 子ども…安心して遊ばせられる場所が少ない。他と比べよう。
- 子育てについて感じていること。子どもが外でおもいきり遊べる所が少ない（子どもが1人で行けるところで自転車NG、ボールNGなど）。子どもが病気の時に預けられる所が伊予市にもあったら良いと思う。
- 子どもが自由に遊べる場所、近所の友達と遊べる環境があるか。
- 子育て。双海においては自然環境は豊かであるが、文化的な施設（図書館など）が乏しい。病院がない。
- 子育てについて…若い世代が暮らしやすい(子どもの遊ぶ場所、機会がある、教育の充実etc.)伊予市になってほしい。



### <子育て環境の整備が必要>

- 伊予市の子育てについて。保育所の利用について、保育所の数(一時保育)、保育士の人数が足りていない現状。そこが課題。
- 子育てに関する伊予市の施策が画一的。本庁地区と周辺部(中山、双海)はその地域、特性にあった環境整備が必要である。具体的には未就学児と保護者が集まることができる「ひろば」の設置、図書室の充実、公園の整備、高齢者と子ども達が触れ合うことができる仕組みづくりが重要。子どもがいなくなるよ～。高齢化は課題ではない。
- 小6と小1の息子がいます。今後、教育費にどのくらいの費用がかかるのか不安な面があります。
- 子どもの医療費についてが心配。
- 子育てについては、小学生くらいになってからの話ですが、親が長期(夏休みなど)のお休みに安心して子どもを家においておくことの出来るような施設を造ってほしいです。

### <その他>

- 子育てについて…終わりました孫が成長していく毎日が楽しみで、声をかけてくれて、遊びに来てくれるのがうれしいです。
- 日頃感じていること。年配の方の活動に頑張っているな、伊予市を盛り上げようという思いが伝わってきます。子育て世代(20代~30、40代)の方の活動もよく見られてはいますが、やはり子どもの子育てがあるので、なかなか充実した、また思い描いている活動が途中で終わってしまう(やりたい気持ち半ばで…)のが残念です。今、私も子育て中(小4、小6の娘)の母親です。できる時間にできることを助けていただきながら、サークルさせてもらっています。少しずつでも続けていくことが大事。

## 高齢者の暮らしについて

### <暮らしの心配>

- 高齢者…車の心配。
- ひとり暮らしで高齢者まっただ中の私の考える事。今はたいした事ではないけれど、これからの年、買い物とか通院とか、人に迷惑をかけずに済ませたいといつも思っているが…、しかし。
- 親がさらに高齢となると、体のこと、運転のことが心配になる。
- 高齢化について…健康に安心して暮らせる伊予市になってほしい。
- 高齢化について…自分ももうすぐ後期高齢者になるので、毎日が元気で周りの人(子ども)達に迷惑を掛けないよう、食事、運動と好きなことの日々を送りたい。
- 父母のとなりに住んでいます、今後、年をとった時、父母の面倒を見られるか不安もあります。田畑の世話ができるかなあ…。

### <高齢者の居場所づくりが必要>

- どの報道番組又会話の中にも、必ず高齢化の話が出てきます。あまりいい話でないことも多いのですが、ではどのようにしたら楽しい話になるかといつも思います。その為にも横のつながり、楽しい場を作ることかと思いません。
- 最近、2年ほど前に配偶者がなくなり、毎日毎日さみしいさみしいと訴える近所の高齢者の方がいました。この一年間を通して、近くの集会所でサロンのような集まりがあり、楽しんで通ってくるようで、少し安心しています。
- 高齢者が生き生きと暮らせる生きがい(役割、仕事)。小地域単位にシルバー人材センターのような機能を作り、子育て支援もそこで担えるように。

## 地域のつながりについて

- 子育て環境はよくなっていると感じる一方で、サポートがなくて困っている人もまだまだ多い。伊予市で子育てをしたいと思う人を増やすには、人と人とのつながりを強化したコミュニティづくりが大切。一人ひとりの参画意識！
- 組織的なことではなく、ちょっとしたおとなりさん同士の助け合いがあればいいなと思います。
- 地域の中で高齢者と子育て世代が協力し合える、古き良き時代のご近所付き合いを復活させたい！
- 子育てからお年寄りまで、地域で支え合う、関心を持つ、気かけ声をかける。高齢者同士であっても、できる人ができることをする。誰しも助けられるだけより助けたいと思っているし、それが生きがいにつながると思う。
  - 高齢者と同居する家庭が少なくなり、子どもにいろんな事を伝えて行く事が出来なくなってしまっている。
- 世代間の交流が少ない。分け隔てなく、皆が楽しめるようなまちを作っていきたい。
- 私事ですが、今日は長男の卒園式でした。笑顔いっぱいの子供達も、先生とのお別れの時はみんなで大泣きでした。保護者と一緒におじいちゃん、おばあちゃんも来られていました。普段から積極的に子育てに携わっていらっしゃる方々も多いのでしょう。世の中が便利になり、1人でも生活できてしまうことは素晴らしいことですが、世代を越えて、手に手を取り合える伊予市になると良いなと考えています。
- ひとり暮らしの高齢者でも「最期まで住み慣れた家で過ごしたい!!」という気持ちを大切にできるような地域力を臨んでいます。
- 伊予市に住んで30年経ちました。鳥の木団地は当初、子どもが多く、団地内に小学校を建ててもいいくらいでしたが、今は少子化で65才以上の人が役3分の1になっています。それでも2世帯住宅がパラパラ建って、子どもの声が聞こえるとホッとします。私も孫と歩くと、近所の人声が声をかけてくれる、やさしい所です。

## その他、気付いたことなど

### <課題の整理が必要である>

- 高齢化が進んでいるのは伊予市だけではない。それをどう受け止め、どう生かすかが大事だと思う。
- 声なき声を知りたい！元気な方、活動熱心な方の意見は吸い上げることができるが、本当の課題は声を発さない人にあるのでは？
- 私の勤めている中山町は、高齢化率が高く、特に日中は若い方々が町外に勤めに出ており、何か災害が発生しても対応が困難だと心配しております。そして独居や老老介護の方がたくさんいらして、一軒ずつが遠く、ますます心配になります。要支援は今後、市が受ける形となり、サービスが少なくなるのでは？等、心配は山積です。



- 生まれ育ったのは東温市ですが伊予市に移り住んで5年目になります。広報などはいつもよく目を通すのですが、実際にみんくる等を利用するとか、近所のお年寄りとおふれ合うとか、そういう機会は仕事も忙しいためありません。現状がよく分からないという状況です。

### <その他>

- 伊予市に嫁いで13年経ちました。これからも住み続けたいと思える様な伊予市であって欲しいので、私に出来ることを気付かせてもらいに来ました。皆さん、よろしくお願いいたします。
- 上吾川区の役員をしている立場から、当地域の高齢者の暮らしについて助言が出来る事があればと思っております。又、三世代交流施設「上吾川ふれあい館」の活動にも参考になればと思っております。

## 問題提起「伊予市の子育てと高齢者の暮らしの現状」

職員チームから、伊予市の高齢化と子育ての見えない問題や知らない問題について、問題提起をしました。

1

先日、立場が変わると問題が全く見えなくなるという経験をした。市役所前には4本の横断歩道があり、そこを毎日のように通っている。そこに高齢者用の押しボタンがあるが、あの交差点には2つしか設置されていない。高齢者の方がどこから市役所に来られるのか分からないのに2つしか設置がないことについて、私自身、問題意識がなかったために気付かずだった。恐らく、ご指摘くださったのは「ここにもあったらいいのにな」という目線で問題を見ておられたので、すぐに気付いたのだと思う。

このように個人、集落、地域、それぞれ思う問題や要望があると思う。自分が当たり前と思う問題についても、違う目で見たら気付かされることもあると思うので、どんな小さなことでも、多くの皆さんからのご意見を頂戴したい。地域や世代の違いで気付かない問題について考えるよい機会になると思う。

2

以前は、子育ての悩みなどをママ友の間で情報交換していたが、今はインターネットで情報を得る方が増えているそうである。また子育てのサポートの仕方も、昭和時代には親、祖父母、兄弟姉妹、親族、地域だったが、平成になると親、祖父母となり、兄弟姉妹、親族や地域との関わりが薄れてきているようだ。さらに地域によってはご近所付き合いが減ったため、住んでいる方を知らない方が増えている。

私の理想は、地域の公民館や集会所を利用して遊べる場所を開放したり、地域の高齢者に宿題等の指導をしてもらおうというものである。元気な高齢者にも、働き場所や生きがい、楽しみの空間があればと思うし、親としても、家から近い場所で安心である。

よりよいまちづくりに向けての前向きな理想や希望から、見えてくる問題に気付くことが出来るのではないかな。



# 高齢者の暮らしと子育ての課題を通して 伊予市の政策を考えよう

[ ] はグループ番号

高齢者の暮らしと子育ての問題から、地域の課題と市の政策課題を分類整理しました。

地域の協力で解決できる問題	
高齢者の暮らしの課題	
<p>●<b>生活のサポート</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ゴミ置き場が遠くて、高齢者がゴミを出しに行くのが大変 [1]</li><li>・体が弱い人の手伝い（ゴミ出し）[6]</li><li>・自分の山や畑が気になり、出かけていても独居だと連絡がつかない。[2]</li><li>・一人で引きこもりがちになっていないか。[4]</li><li>・高齢者を対象にサポート（有料でも可）[1]</li><li>・ひとり暮らしの人の近所の声かけ [6]</li><li>・どこに要支援者がいるのか分からない。災害時などに困る。[4]</li><li>・地域にも若い人、高齢者の方でコミュニケーション不足が見受けられる。[5]</li><li>・日頃からの声かけ、話し合いを密にして、独居であっても話し相手がいる安心感を与えてあげる。[5]</li></ul>	<p>●<b>居場所づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者の集いの場所が欲しい。束縛の無い場所 [1]</li><li>・高齢者が気軽に集える場所が欲しい。[6]</li><li>・高齢者同士支え合う。[4]</li><li>・関心を持つ、気をかけ、声をかける。[4]</li><li>・隣近所の声かけ [4]</li><li>・身のまわりの人や地域の人たちが、お互い誘い合って楽しみの場にするようにしたい。[5]</li><li>・グループの集まるサロンをまとめる人がいない。人材 [5]</li><li>・独居老人の対応。社会参加（地域での）。参加が得られにくい。⇒情報、うまく知っている例、成功例が知りたい。[2]</li></ul>
子育ての課題	
<p>●<b>子育てのサポート、地域内の交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・毎日ではない、たまに子どもを預ける場所もほしい。[4]</li><li>・ママサポを利用したいが料金。高齢者の方に気軽に、同じように見てもらえると助かる。[1]</li><li>・子どもが2人ぐらいいる所で、1人が病気になった時、あとの1人を放っておけない時の状態を見てくれるような制度はないのでしょうか。[5]</li><li>・子どもと高齢者がふれあえる場所があるといいな。[6]</li><li>・子どもの相手が可能な元気なおじいちゃん、おばあちゃんに遊び（昔ながらの）を定期的に教えてもらいたい。コマ回し、あやとり、お手玉 [2]</li><li>・遊び方教室。魚のとり方、虫とり、川、海 [2]</li><li>・三世代交流の機会づくり [2]</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公民館単位の定期的な活動。参加していない人がいる。[2]</li><li>・叱ってくれるおじいさんがいなくなった。[3]</li><li>・昔ながらの遊びを子ども達に教えてほしい。[3]</li><li>・子どものモラル低下。日常的に近所の方にも声かけ、叱って欲しい。[4]</li></ul> <p>●<b>安全な遊び場、道</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・休みの日は外で遊べる場所を。[6]</li><li>・クルマの心配が少ない遊び場（双海）[6]</li><li>・子どもの声に対して、近所から苦情がきてしまう。[3]</li><li>・子供会のイベント、まつり、いのこ、すもう、今後できるのかな?? [4]</li><li>・安心して通学できるのか。[4]</li></ul>
その他の課題	
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動に参加する人が少ない。[1]</li><li>・自分事として動く人が少ない。[4]</li><li>・次を担う世代の出番がない。[4]</li><li>・新しい住民で近所とのコミュニケーションを作る気がない人が居る。[5]</li><li>・災害時に助け合える近所づきあい。平常時からの交流 [2]</li><li>・交流できる環境 [5]</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・若い方は仕事に出る方が多くなっており、地域で交流するような場面が少ない。田舎でも付き合いが浅くなっている。[2]</li><li>・団地住宅では2世帯住宅が少なくなっている。[5]</li><li>・市長さんや議員さんをもっと身近に感じたい。[6]</li></ul>

## どちらとも言えない問題

### 高齢者の暮らしの課題

#### ●買い物や交通の利便性

- ・買い物、通院支援のコミュニティバスみたいなのが欲しい。予算をつぎこんでほしい！ [1]
- ・田舎に行くほど、お年寄りが買い物する場所がない。 [4]
- ・商店街が少なく、食料品の入手困難な方や所がある。 [5]
- ・買い物できる場所がない（双海） [6]
- ・高齢者の移動手段がない。 [1]

#### ●居場所づくり

- ・サロンのような集まれる場所。目的なしに集まる空間 [3]
- ・介護をしている家族が集まって気軽に話せる場所 [4]

- ・夕方に体操タイム（タイでは18時にエアロビをする） [3]
- ・高齢者のできることを生かせる場所→「役割」を持つことが大切 [4]

#### ●高齢者のサポート

- ・独居高齢者の増加（認知症初期の症状の方のクサリの管理、生活支援のあり方） [3]
- ・高齢者の虐待を皆で防ぎたい。 [4]
- ・民間で支援してくれるNPOなどがない。ネットワーク [5]

### 子育ての課題

#### ●安全な遊び場が少ない

- ・近所に小さな公園はあるが、行っても子どもがいなくて交流できず、すぐに帰ってくる。 [1]
- ・地域の中や近所で遊び場がない。 [1]
- ・車が走らない空き地、道路がない。 [3]
- ・空き地を一時的にでも子どもの遊び場に。 [3]
- ・子どもが自由に集まって遊べる広場が少ない。昔は空き地や砂利道でも遊べてた。 [3]
- ・家の近くに子どもだけでも遊べるような公園がほしい。 [3]
- ・ボールで遊べる広場がない（少ない）。 [3]

#### ●子どもが少ない

- ・子どもが少ない。 [1]
- ・少子化で近くに同級生や近い年の子がいなくなりつつある。 [4]

#### ●地域の見守り

- ・両親共働きの場合、子どもの送り迎えが難しい。地域の関わりの場がほしい。 [1]
- ・子どもの通学。人がいない？あいさつ、声かけ [3]
- ・児童クラブのような安心、安全な地域の人たちに見守ってもらえる場所があれば良い。 [3]
- ・子どものおつかいをさせたい。コンビニだけ。昔の近所のお店 [4]

#### ●その他

- ・病院が近くにない（双海） [6]
- ・商店街の歩行者天国化（時間制） [6]

### その他の課題

- ・新興住宅地の方と、もともと住んでいる方の交流をどうするか？ [4]
- ・世代を超えた交流が少ない。 [4]
- ・老いや死についても身近に感じてほしい。 [4]



## 地域では解決できない問題

### 高齢者の暮らしの課題

#### ●買い物や交通の利便性

- ・市街地をまわるバスも欲しいな。[1]
- ・移動支援、デマンドタクシーをもっと便利に。[1]
- ・デマンドタクシーの使い勝手が悪い。中山までしか行けない、土日が安い、昼間のみしか使えない。[3]
- ・交通の便を確保できているか。[4]
- ・福祉バスに山の上まで行ってほしい。[4]
- ・地域で安いスーパーが無い。バスも無く、タクシーを利用する人がいる。不足 [5]
- ・買い物弱者を減らすためのバスの回数はどうなっているのでしょうか。交通 [5]
- ・買い物出来る車の誘致を。[2]
- ・買い物先が遠い。足腰が弱ると買い物にも行けない。[2]
- ・自転車で走りやすい道路にしてほしい。[3]

#### ●高齢者を支える仕組

- ・山間部で、自分も近所の人も皆で年をとっている。助け合うといっても皆が高齢者である。共助と言うが…。[2]
- ・高齢者の地域包括ケアシステムづくり（予防、退院促進）[2]

#### ●高齢者の活躍の場、交流

- ・高齢者が得意とする趣味をお披露目し、生き生きと出来る所があれば良い。[3]
- ・退職された人が経験を生かして活躍できる場所があると良いと思う。[3]
- ・地域をまたいだ交流を！地域内ももちろんだが。[2]

#### ●安全、安心な暮らし

- ・夜間診療してくれる病院がほしい。[4]
- ・365日、24時間体制の訪問診療 [4]
- ・高齢独居者の要支援者を把握できない。市が情報を出さない。[5]
- ・医療費が一日でも長く一割負担が続きますように！[6]

#### ●誰もが使いやすい道

- ・グレーチングの目に手押し車のタイヤがはまってしまいそう。[3]
- ・車イスに乗っている方でも生活しやすいか。[4]
- ・商店街のインターロッキング。車いすベビーカー、手押し車には不便。[4]
- ・マイピアで車道を走るのが危ない（路肩が狭い、歩道がない）[6]

### 子育ての課題

#### ●遊び場がない

- ・伊予市全体でも遊び場がない。[1]
- ・ベビーカーで行ける近さの公園がない。[1]
- ・小さな子どもとママが歩いていける公園がない。（双海）[5]
- ・（上灘）学童すら外遊びする場所がない。[1]
- ・子どもがはだして走り回れるような自然の残る公園（水や木とふれあう所がほしい） [2]
- ・子どもが思いっきり外で遊ぶ場所 [4]
- ・子ども達が安全に遊べる場所が近所にあるといいな。[4]
- ・親子たちのコミュニケーションできる場所が無い（公園、グラウンド）。[5]
- ・木かげがある場所が欲しい。[6]
- ・子どもが遊べる室内施設、企画作り。食事ができるところがほしい。バイキングやモーニング。

#### ●商店街の整備

- ・商店街のインターロッキング。車いすベビーカー、手押し車には不便 [4]
- ・商店街で楽しく過ごしたい。[6]
- ・商店街に公園（駐車場付き）を作って欲しい。イベントを開く。[6]

#### ●子どもを預けられる場所の整備

- ・未就園児がいる母親が働くための少しの預かり、働く場所自体がない。[1]
- ・仕事したい時に預けられる保育所（施設、定員）[2]
- ・両親で仕事に出ていると、学校から子どもの体調が悪いと入ると、どうしても迎えに行かなくてはならず困る。[2]
- ・病気の子どもを預かってくれる所が伊予市にもほしい。病児保育 [2]
- ・ケアハウスでボランティア（子ども、ママ）[2]
- ・子どもの学校終了後、親が仕事で留守になる家庭の子ども達が、高齢者とふれあう施設があれば良い。[3]
- ・学童クラブの利用料金値上げ。年5,000→年12,000円で24% UP。3人兄弟では36,000円。高い！なぜ!!（双海）[5]

#### ●病院の整備

- ・夜間診療してくれる病院がほしい。[4]
- ・365日、24時間体制の訪問診療 [4]
- ・小児科が市内に少ない。[1]
- ・移住者目線で子育て支援策（医療費や保育料など）[1]

### ●保育園、幼稚園

- ・双海には保育所しかない(幼稚園がない)。[1]
- ・希望の保育園に入りづらい。[1]
- ・(上灘) 保育所の駐車場がない。[1]
- ・ゆうぎ室の場所が奥まっついて行きにくい。[1]
- ・公立の幼稚園ですが、給食センターができるのに受け入れ設備がないために利用できない。設備の老朽化が少し心配。耐震問題。[1]

### ●その他

- ・団地内に空き家が増えて人口が減っている現実もある。[5]
- ・図書館の貸し出し、なんと月に1回あるかないか?! (双海) [5]
- ・未就園児とママが集まる「ひろば」が近くに無い。(双海) [5]
- ・不登校等の子ども達への対応。フリースクールをつくる。教員OB、地域の人たち、民生委員さんなどと協力して。[6]

### その他の課題

- ・ため池はキケンですか? 場所。危険地区はどんなラインで決定している? [2]
- ・市民がもっともっと気軽に相談しやすい窓口を。気軽に思いを伝えにくい雰囲気がある。[6]
- ・市役所がもっと身近なものになるといいな。[6]
- ・空き店舗の使い方(商店街)。お見せを開いてみたい方に安く貸してもらえないか? 資金補助 [6]
- ・商品券の使い道を考え直してほしい(商店街活性化につなげていけるには)。[6]



### 各グループの発表から

#### <1グループの発表から>

駅自体が遠かったりバスもなくなったりして、高齢者の移動の手段がなく、出かけたくてもなかなか出かけられないということが出た。

子育ての方では、「マミサポ」は利用料金が高く、なかなか利用する機会がないので、高齢者の方に気軽に見てもらえるようなものがあると助かるという話が出た。また大きな公園はあるが、親が車で連れて行かないといけなかったり、近所に小さい公園があってもほとんど子どもがなくて交流なく帰ってくることもあり、昔の子どもの遊び方とは変わったと感じる。

初めは「地域では解決できない問題」に多くの付箋を貼っていたが、話しながら「どちらとも言えない問題」に貼り替えていった。伊藤先生からもコミュニティバスを市に委託するとかなりの額になり現実味がなくなると聞き、左へ左へ付箋を貼っていけるように考えた。完全なボランティアではなく、利用者には負担にならない額で利用してもらえると良いという意見もた。また地域間の交流があれば、コミュニティバスや助け合いのハードルも下がっていくのではないかと。



#### <2グループ発表から>

高齢者の地域参加について、成功例の情報が不足している。また買い物や調理が大変でも、配食サービスを受けるには年金が少なく困難だという話も出た。山間部で、自分も近所の人も年をとっているので助け合うと言っても難しい。地域をまたいだ交流や高齢者の地域包括ケアシステムづくりを、地域でなんとか考えていきたい。

子どもの遊び場がないことに加え、遊び方を知らないことも問題ではないか。昔ながらの遊び方教室を公民館活動で行い、多世代の交流を図っていけたら良い。学校教育や幼児教育のPRを行い、「伊予市に住みたい」と思ってもらえる施策をとる。共働きで、子どもが体調を崩した時にすぐに対応が出来ないことがあるので、その時に預けられる短期保育や、ご近所に預かってもらえるような制度があれば良い。またケアハウスで交流を図る方法もあるのではないかと。

災害時に助け合える近所付き合いは、高齢者と子育て共通で存在する課題である。また、ため池に柵がなく、落ちては危険なので、何か対策を考えた方が良いという意見が出た。





### <3グループの発表から>

民間の空き地を、草刈りをする代わりに遊び場として利用させてもらえれば、双方がいい関係を築けるし地域の活性化にもつながるのではないかな。

郡中地域では、車の通行量が増えて自転車が安全に行き来出来ない。移動が車になると、商店街での買い物もおざなりになってしまう。自転車が通やすく、高齢者の手押し車の車輪がはまらないような道路整備をしたい。

放課後児童クラブは委託料を出して市が運営しているが、地域のいろいろな技術を持った高齢者の活躍の場として、お金をかけずに子どもを地域の大人が見るような仕組みが出来たら良い。

世代間の交流や地域での助け合いが解決するきっかけとして、地域での体操を提案したい。1年間、タイに住んでいたことがあるが、タイでは毎日、夕方6時に地域の広場でエアロビが始まる。バンコクでも地方の田舎でもやっている。そういうことをこの辺の地域でも出来たら面白いのではないかな。ラジオ体操やALTA体操でも良い。そこへ行けば地域の人の顔も分かるし、良いことがあるのではないかなと思う。



### <4グループ発表から>

地域の結びつきが低下している背景には、新興団地の建設があるのではないかな。また子どもを安心して遊ばせる場所がなく、子ども同士の世代を越えた交流がない。おつかいを任せたいが、昔からの店がなくなり、近所のお店の方からの声かけもなくなってしまった。

段差や地面の凹凸がある、山奥まで福祉バスが来なくて困っているなど、交通弱者への配慮がない。また365日24時間対応の病院があれば良い。

千葉県松戸市では、町会ごとに消防団の下に女性防火クラブがあった。発端は小学校のPTA役員からだったが、今では多世代の方に入ってもらい、近所や市や学校とネットワークを組んで活動している。例えばお母さんの仕事で、幼稚園に通う子どもが熱を出して迎えが必要な場合、隊長から協力者へ発信して、幼稚園に迎えに行き、帰るまで預かったり病院に連れていく。介護に疲れた家族のために、一時的に介護を代わったり、クッキングスクールを開くなど、地域の中でみんなで子育てをして介護をしている。これからこんなことを広げていけたらいいと思う。



### <5グループの発表から>

高齢者が互いに支え合って楽しむ場、居場所づくりが大変重要ではないかな。私の地域のサロンは午前中から3時頃まで、ただ話をするだけだが、月1回のそれを楽しみにしてくれている。そういう場のないところもあると思うので提起したい。また挨拶+アルファのコミュニケーションは地域で出来る事である。

市役所は独居高齢者の情報を簡単には出さないが、高齢者、要介護者の把握が出来ないとざとというときに困る。また民間で交通や買い物の支援してくれるNPOやネットワークが必要である。

子どもの1人を病院に連れて行く場合、他の子どもを連れて行くのが大変なので、制度として何か出来ないかな。歩いて行けるような公園がない、図書室の貸し出しが月1回しかない、未就園児とお母さんが集まる環境がない。集落の空き家の活用、学童クラブの利用料金の値上げなど、地域の課題はいろいろである。

交流する場が欲しいという人がいる反面、放っておいてくれという現実もある。特にご高齢の独居の方では放っておくわけにはいけないので、そういうことも課題である。

### <6グループの発表から>

子どもの遊び場として公園を整備できなくても、空き地を活用すれば、地域で解決できる問題に近づくのではないかな。

もっと市長さんや議員さん達から市民に寄り添い、声を聞いて見ているという姿勢を見せて欲しい。そして市役所の方達を身近に感じ、気軽に相談したい、そういう窓口が市役所にあつたらいい。

商店街は空き店舗が増え、寂しい雰囲気である。お店を開くのはお金がかかるので、若い人たちがお店を開けるような補助を行政に考えてもらいたい。商店街に公園を作り、イベントをしてもらいたい。子ども達が行ってみたい思えるような企画を考えて、商店街に子どもの声が聞こえるようにしたい。またベビーカーを押した子ども連れの方やお年寄りが歩きやすいように、車の通行規制をしたら良いという話も出た。楽しい商店街になっていくと良い。

不登校や引きこもりの子ども達のための施設を伊予市にも作って欲しい。教員のOBの方や民生委員さんにも協力していただいて、元気な子ども達だけの対応ではなく、自分の殻に閉じこもった子ども達の対応も目を向けてくれたらと思う。

## 感想カード

最後に、今日参加した感想などを、自由に感想カードに書いていただきました。

### いろいろな方と意見交換ができてよかった

- いろいろな方とお会いできて、また沢山の視点にふれさせていただいて、参加出来て良かったです。目からうろこのお言葉もありました。良い機会をいただきまして、ありがとうございました。
- 伊予市のこれからを想う人たちとテーブルを囲み、意見を出し合えたことは良い機会であった。私は高齢者や子育て世代の本当の悩みを聞きたいと想っていたので、率直な意見が聞けて良かった。せっかくの出会いなので、このつながりが生かせるような場も用意してほしいと思う。
- 今日は普段はなかなかお話を聞く機会のない方のお話を聞けて楽しかったです。こういった話し合いの中でネットワークができれば、地域の中の当事者意識も生まれてくるのかなと感じました。また参加したいと思います。
- あつという間の3時間でした。地域でできる子育て、高齢者の見守りが、ひとりだとわからないことが多くの方が集まることで、たくさんのお話をお聞きすることができて本当に良かったです。ありがとうございました。
- 子育て世代の問題の中で、高齢者の方の活躍で解決できそうなものもあるんだなと思いました。でもやっぱり顔を知っているつながり、信頼などが大前提にあるのかもしれないなと思いました。あと、いろんな活動があっても、なかなかその情報を知らない方もあって、利用するまでに至らないということもあるのかなと思いました。今日はいろんな方のお話が聞けて良かったです。伊予市がもっともっと住みやすい地域になってくれることを期待します。
- 子育ての悩みは今も昔もあまり変わらないなと思った。老人世代を楽しく過ごしたいと思っていますので、元気でいたい。いろいろな事に挑戦したいと思いました。いろいろな人とお知り合いになれて良かったと思います。
- 他地域、世代の方の様々な意見がきけて良かった。生活コミュニティのつながりの強化が、地域の課題だと思います。多くの方が子どもが外遊びできる場を求めている、子どもが安心して外(近所)で遊べるまちづくりをすれば、そのPRで若い世代の定住が期待できるような気がしました。三世代交流、近所付き合いができる、社会性のある子ども達を地域で育てるつもりで、ひとりひとりが地域コミュニティの一員として自覚し、協力、参画することが大事だと思います。市職員として意見をしっかり受容しなきゃと反省する点もありました。
- 普段、交流していない方々と意見交換できて刺激になりました。市民感覚と市役所間隔ではないぶん乖離があると感じた。住みよいまちをつくるのは、一人一人の意識が大事と思う。個々が自分らしく生き活きとできるよう、模索していけるといいなと思う。
- 本日参加して感じた事。(1)グループ5名であり、自由な良い雰囲気であり、自由な意見が出せたと思う。(2)自分たちのグループの提起発表もさせていただき、方向付けが少しは出来たようです。高齢者の居場所や閉じこもりの対応が難しい。



## 勉強になった

- 子育てに関わり始めて色々な事が見えてきた中で、今回、ワークショップに参加してみて、勉強することができて良かったです。交流する環境が少ないという子育て、高齢者世代での共通課題があったり、買い物をするのが困難、遊び場がないなど、それぞれに別の課題があったりと、普段見えなかったことが話をすることで少しでもわかったので良かったです。
- ネットワーク作りを誰がやるか。一人一人が考えていきたい。課題は共感する事から始まる。各方面からいろいろな意見が聞けて勉強になりました。
- 今回のワークショップは良かった。地域によっては実際に課題に対する組織づくり対応が出来ている事例もあり、勉強になりました。今後はもっと色々な事例を紹介していただき、共有する課題に取り組んで行く事が必要だと感じました。
- ワークショップに参加し、自分では気付かなかった親から見た子育ての問題点に気付くことができて良かったです。特に公園の整備については、目からうろこでした。問題点に気付くには、相手の立場に立ち、目配りしなければならないのだなと深く思いました。地域の様々な問題を共有し、解決に向けられるよう頑張りたいと思います。
- 伊予市は地理的環境の違う市町が合併したので、地域によって課題が違うと思っていましたが、求める本質だったり、満足度、幸福度は同じであると学びました。形にすると違うかもしれませんが、求める本質、課題の本質をしっかり見極めて、今後に活かしたいと思います。
- 自分の立場としては子育ての課題しか身近になかったのですが、違う立場からの視点では、いろいろなことがあり、気付くことが多かったです。今日は参加でき、日頃思っていたこと等を伝えられてよかったです。

## ワークショップについて

- ワークショップのグループ内に同じ周辺地域である中山の方が入っていると良かったです。6名（本庁地区、双海、中山）のバランスで。年代は子育て世代もシニアも入り良かったです。時間は少し長いかな～。第2次総合計画がわが伊予市の未来を見据えた、より良いものになることを願っています。
- 高齢者と子どもはつながっているが、グループメンバーが若い人が多く、高齢者問題を十分、話し合えなかったので、グループ構成を配慮してほしかった。長時間なので、紙コップで飲めるお茶(タンク)を用意してもよいのでは。
- 高齢者問題と子育て問題を本日明らかにしたことで、解決方法は出てくるんだろうと思いました。ワークショップということで、整理シートなど使い、意見の出やすいあつという間の会でした。ぜひ1つでも成功していきたいものです。せっかく参加したんですから…。
- 初めて参加させてもらいました。心の中のモヤモヤを話をすることができてよかったです。今回の話し合いであがった意見が実現できることを願います。
- 参加者がPTA会長とか民生委員さんとか、リアルな声がたくさん出てよかった。課題がいっぱい出たので、解決に向かって動きたい。実践チームを募りたいところです。人手集めがむずかしいのかなー。いろんなところで「縁側」がたくさんできるといいなと思います。ベンチをつくる運動も楽しい。ベンチをどこに置く？がそれぞれの世代で自分がつくっておきたいな。
- まず初めに、部屋が狭い。広くすると收拾がつかなくなるのはわかるが、他の班の方が熱心に話していると、自分の班の方の声が聞こえない。また今年度、このようなワークショップに参加する毎に思うことだが、行政がやろうとする事業に住民に入ってもらうのは非常に良いことだと思う。今回、公園が少ないという話が出たが、作るとなった時に「柵があればいい」や「ここなら子どもが集まりやすい」など、行政職員だけでは気付きにくい事が抽出出来るのではと感じた。あと、各地区の事例を多くの人に知ってもらおう、周知や広報をしたいと思う。



## 伊予市の将来のために考えていきたい

- 私たちの伊予市を愛している人たちが集まって、少しでも人が集まって暮らしやすい町にするための意見が聞けて良かったです。特にタイでの経験の話、千葉の松戸市の話など参考にしてみたいと思いました。行政任せだけでなく、シートで左側に行くように(地域でできるように)、1人1人、意識を持つことが一歩だと思います。
- 課題がとても身近なだけに、大いに興味がわきました。これから高齢者となる私にとって、買い物だけでなく、移動するにも大変となっていくので、今日の私たちの声をよく聞いていただきたいです。それと子育ては終わりましたが、孫達にとってもここで子育てするのを楽しい…ものと思えるような社会(伊予市)になってほしいです。とても有意義な会でした。ありがとうございました。
- 自分が住んでいる伊予市づくりを本気で考えなくてはいけないなあと考えた。子育てが終わったから人事で良いと思うだけではなく、自分が子育てをしてきたから、それをアドバイスし参考にしてもらおうと考えを改めたい。これから自分が行く道、高齢者時代をより良い住みやすい地域づくり、伊予市づくりを本気で考えたいと思う。いろんな意見を聞いて、もっともっと地域の子どもを地域の大人達が育て、交流を深めて行くと、すばらしい伊予市へと発展していけると信じたい。
- 子育てを誰がするのかと考える時、いままでは「両親」と当たり前のように思っていたのですが、子どもが大人になって住んでいる地域にどう関わっていくのかを考えていく時に「地域」の子育ては非常に欠かせないものと感じました。ありがとうございました。
- 参加させて頂いて良かったです。伊予市に住んでいて知らない事だらけでした。又、伊予市に熱い思いを持っていられる方々に出会えて、未来に希望が持てます。生涯、ここに住めて良かったと思えるような街(地域)にしたいです。自分にできる事をやっていきたいと思えます。ありがとうございました。
- 市をどのように変えていくのか、足りないことをいっぱい見つけないといけないと感じていましたが、この場所に来て、伊予市の良いところを多く見つけました。「いりこ」「かつお」で出汁をもっとアピールできるのではないかな。今後、大きく発展できる可能性を感じました。市ではなく、地域で子どものために動けることもたくさんありますね。
- 今回参加させて頂いて、皆さんのいろいろなご意見をお聞きし、自分の住んでいる町にたくさんの課題があることを知りました。私は伊予市は地域性、人柄、住みやすさなど大好きな町です。大好きな町が今回出た意見により、よりよくなって下さる事を願い、私も出来る事を頑張っていきたいと思えます。
- この会に参加して、ネットワーク作りの大切さを改めて実感しました。いろんな立場の人が話し合うことで地域、行政が協力して、よりよい伊予市になるといいです。
- 課題が身近なものでありながら、思うように生活出来ない。住みよい伊予市になることを祈ります。
- 身近な地域のことだけでなく、色々な知らなかった事を知ることができました。あらためて行政に頼るだけでなく、地域や身近な所で協力し合える街づくりを目指していかなければならないと思いました。職員としてだけでなく、地域の一員として、自分から出来る事をしてみようという気持ちになりました。
- 市民の方が思う伊予市の課題について、共有することができてよかった。子育てと高齢者での課題として、交通手段や話し合う場(交流の場)がほしいという意見が多かったと感じた。このような意見を踏まえて、第2回、第3回の話し合いで活発な意見交換をしたいと思います。
- 特に子育て世代を中心に集まっていたので、新鮮な意見が聞けて良かった。面白い提案もあったので、いろいろアイデアをふくらませられるのではと思った。

